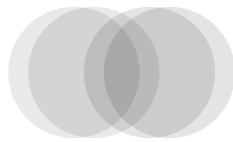


大会
テーマ

人間性心理学と他領域の交差

代表 **榎本 光邦** 群馬パース大学 教養共通教育部 准教授

大会プログラム
・発表論文集



JAHP

The Japanese Association for Humanistic Psychology

日本人間性心理学会 第39回大会

人間性心理学と他領域の交差

大会プログラム・発表論文集

2020年 9月 4日(金) ～ 6日(日)

群馬パース大学

(一部ワークショップを除きzoomによりオンライン開催)

INDEX

ご 挨 拶	1
日本人間性心理学会 歴代大会一覧表	2
日本人間性心理学会第39回大会 開催概要	3
大 会 日 程	4
参加者の皆さまへのご案内	6
座長の先生方へのご案内	7
研究発表を行う方へのご案内	8
講演・シンポジウム プログラム	9
大会主催 ワークショップ一覧	10
自主シンポジウム一覧	11
口頭発表一覧	12
ポスター発表一覧	14
発表論文集	
大会主催講演 1	16
大会主催講演 2	18
学会奨励賞受賞記念講演	20
大会準備委員会企画シンポジウム	22
大会主催 ワークショップ	24
自主シンポジウム	34
口頭発表	40
ポスター発表	58
発表演者索引	72
大会準備委員会	73
協賛／賛助会員	74

ご 挨拶

日本人間性心理学会第39回大会

大会準備委員長 榎本 光邦

日本人間性心理学会第39回大会は、2020年(令和2年)9月4日(金)～6日(日)に群馬パース大学(群馬県高崎市)で開催する予定でした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は未だに収束しておらず、参加者の皆様の安全を最優先し、一部ワークショップを除き Zoom によるオンライン開催をすることとなりました。

2019年度の日本人間性心理学会年次大会は、「理事会主催」という新しい大会運営を試みました。加えて、会期が2日間とそれまでより短縮して運営されました。2日間で年次大会の開催を進めるモデルをお示しし、学会のありようを考える機会にさせていただけたかと思います。2020年度の年次大会は、2018年度以前の形式に戻し、群馬パース大学を開催校として準備委員会をつくり、大会当日まで運営していくことになりました。準備委員会は開催校の教員を中心に構成されるのが一般的かと思いますが、群馬パース大学は1学部・5学科からなる医療系の専門職を養成する4年制の大学(2021年度には2学部・7学科に拡大されます)で、心理学を専門とする教員は私しかおりません。更に、大学の近隣に人間性心理学を専門とする知り合いがおらず、大会準備委員はなかば強引に研究仲間や大学院の同期・後輩をお願いをしました。また、日本人間性心理学会大会推進委員会や(株)セカンド様にも多大なるサポートを頂きました。大会準備委員や大会推進委員の居住地はバラバラで、一堂に会するのが難しく、果たして大会の準備ができるのだろうかとの一抹の不安はあったのですが、コロナ禍における遠隔会議ツールの普及が奏功し、ここまでは順調に準備を進めることができました。改めて大会準備委員・大会推進委員の皆様や(株)セカンド新田公介様に御礼申し上げます。

日本人間性心理学会は、人間性を理解し、その回復と成長に貢献することを通じて、社会的責任を果たし得る心理学の研究と実践を推進することを目的としています。社会で様々な価値観が認められ、一昔前の常識や規範が大きく揺らぐ今、目の前の現象を様々な角度からとらえ直す姿勢が求められるのかもしれません。そのような思いから、本大会のテーマを、「人間性心理学と他領域の交差」としました。ここでいう“他領域”とは、心理学に限りません。医学、哲学、教育学、社会学、文学、芸術…等々、様々な領域と人間性心理学が交差する点を探求し、それらの領域と人間性心理学がさらに発展していくことを目指したいと思います。

大会初日にはバラエティに富んだ講師陣による大会主催ワークショップを6コースと自主シンポジウムを4件予定しております。大会2日目には口頭発表17件とポスター発表13件を予定しております。そして3日目には大会主催講演としてRob Parker氏(フォーカシング指向心理療法家)による「Focusing Oriented Psychotherapy and Complex Trauma」、原田誠一先生(原田メンタルクリニック院長)による「認知行動療法と人間性心理学の交差」、2019年度に学会奨励賞を受賞された久羽康先生(駒澤大学)による記念講演「臨床と有機体、主体、応答性」、そしてシンポジストとして三國牧子先生(九州産業大学)、堀尾直美先生(フォーカシング・ネットワーク)、下田節夫先生(幡ヶ谷カウンセリングルーム)をお招きした大会準備委員会企画「新型コロナウイルス状況下での人間性心理学の実践」など、魅力的な講演・シンポジウムを企画しております。また、昼休みの時間帯には書面議決とさせていただいた2020年度日本人間性心理学会総会の報告も予定しております。

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない状況だからこそ、知恵を寄せ合い、一人一人が今できることに取り組むことが大切なのだと思います。大会準備委員・大会推進委員の一人一人が今できることを行った結晶である日本人間性心理学会第39回大会に、ぜひご参加ください。オンラインにはなりますが、皆様と大会でお会いできることを、楽しみにしております。

日本人間性心理学会 歴代大会一覧表

回	日 程	会 場	大会長*・準備委員長	事務局長・次長*
1	1982年7月10日～11日	京都女子大学	畠瀬 稔	
2	1983年9月10日～11日	YMCA アジア青少年センター	水島 恵一	
3	1984年10月15日～16日	名古屋大学	村上 英治	
4	1985年10月19日～20日	日本女子大学	杉溪 一言	
5	1986年9月27日～28日	大阪大学人間科学部	梶田 叡一	
6	1987年9月11日～13日	法輪閣、団参会館	恩田 彰	星野 命
7	1988年9月1日～4日	明治学院大学横浜校舎	神保 信一	
8	1989年9月2日～5日	龍谷大学深草校舎	西光 義敏	畠瀬 直子
9	1990年9月6日～9日	東京家政大学狭山校舎	橋口 英俊	
10	1991年11月14日～17日	福岡大学セミナーハウス、九州大学教養部	村山 正治	野島 一彦
11	1992年11月5日～8日	東京大学山上校舎・安田講堂	見藤 隆子	広瀬 寛子
12	1993年9月2日～5日	大阪市立大学、大阪女学院短期大学	倉戸 ヨシヤ	倉戸 由紀子
13	1994年9月15日～18日	東京農業大学、文化服装学院	岸田 博	清水 幹夫
14	1995年9月14日～17日	愛媛大学教育学部、子規記念博物館	福井 康之	
15	1996年9月13日～16日	名古屋大学情報文化学部、大学院人間情報学研究科	伊藤 義美	
16	1997年9月12日～15日	文教大学越谷校舎	水島 恵一	上杉 喬
17	1998年9月12日～15日	追手門学院大学	小花和 昭介	井上 知子
18	1999年10月9日～11日	京都文教大学	越智 浩二郎*・林 昭仁	
19	2000年9月29日～10月1日	長崎純心大学	児島 達美*・大野 弘之	
20	2001年8月31日～9月3日	札幌学院大学	滝沢 広忠	
21	2002年9月20日～23日	神戸女学院大学	池見 陽	古今堂 紘
22	2003年7月19日～21日	山梨英和大学	林 昭仁*・駒米 勝利	鎌田 誠
23	2004年9月3日～5日	文教大学越谷校舎	上杉 喬*・秋山 胖	渡邊 忠
24	2005年9月23日～25日	九州大学箱崎地区文系キャンパス	野島 一彦	吉良 安之
25	2006年11月3日～5日	愛知学院大学日進キャンパス	池田 豊應*	石川 雅健
26	2007年11月23日～25日	仁愛大学	福井 康之*・駒米 勝利	鎌田 道彦
27	2008年8月1日～3日	関西大学千里山キャンパス	中田 行重	
28	2009年8月28日～30日	法政大学多摩キャンパス	清水 幹夫	
29	2010年9月24日～28日	熊本大学	藤中 隆久	
30	2011年10月8日～10日	愛知教育大学	原口 芳明	
31	2012年9月21日～23日	宇部フロンティア大学	酒木 保	小山 典子
32	2013年9月14日～16日	大正大学	日笠 摩子	青木 聡
33	2014年10月11日～13日	南山大学	津村 俊充	中村 和彦
34	2015年9月12日～14日	聖カタリナ大学	坂原 明	森平 准次
35	2016年8月26日～29日	九州産業大学	三國 牧子	
36	2017年9月8日～10日	東海学園大学名古屋キャンパス	石田 妙美	大島 利伸
37	2018年9月14日～16日	人間環境大学岡崎キャンパス	伊藤 義美	三後 美紀 石田 妙美*
38	2019年9月22日～23日	跡見学園女子大学文京キャンパス	松本 剛	高橋 紀子
39	2020年9月4日～6日	群馬パース大学（オンライン開催）	榎本 光邦	上田 紋佳 藤木 大介*

日本人間性心理学会第39回大会 開催概要

テーマ

「人間性心理学と他領域の交差」

会 期 2020年9月4日(金)～6日(日)

会 場 校 群馬パース大学(群馬県高崎市問屋町1-7-1)
※一部ワークショップを除き、Zoomによるオンライン開催

主 催 日本人間性心理学会第39回大会準備委員会

大 会 HP <https://www.2020jhpc.org/>

大会準備委員会 委 員 長 榎本 光邦
副 委 員 長 宮田 周平
事 務 局 長 上田 紋佳
事務局次長 藤木 大介
会 計 久羽 康
準 備 委 員 竹居田幸仁・丸 利宗・中鉢 路子

大会補佐 大会推進委員 松本 剛・石田 妙美・三國 牧子

日本人間性心理学会事務局 村松 果多

※上記以外の本学会理事・幹事は役割に応じて現地あるいはオンライン上で大会運営業務を補佐する。

事 務 局 日本人間性心理学会第39回大会準備委員会 事務局
〒370-0006 群馬県高崎市問屋町1-7-1
群馬パース大学 教養共通教育部 榎本研究室内
E-mail: 2020jhpc@gmail.com

9月3日 木

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
オンライン Room 1		10:30～16:30	WS-8 ベーシックエンカウンターグループ (1日目) 松本 剛・三國 牧子							

9月4日 金

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
オンライン Room 1		10:30～16:30	WS-8 ベーシックエンカウンターグループ (2日目) 松本 剛・三國 牧子							
オンライン Room 2		10:30～16:30	WS-3 生い立ちに困難を抱える子どもの“時間”をつなぐー社会的養護における心理的ケアー 井出 智博							
オンライン Room 3		10:30～16:30	WS-5 表現アートセラピーの様々な場面での適用 (臨床、教育、産業領域) 小野 京子							
オンライン Room 4		10:30～16:30	WS-7 実践的交流分析入門ー精神ではなく、相互の交流を分析し、変えていくー 江花 昭一							
群馬 パース大学 402 教室		10:30～16:30	WS-4 やさしいフォークシングー対人援助職に役立ちます 伊藤 研一							
群馬 パース大学 403 教室		10:30～16:30	WS-6 自己生成プロセスワークーパーソンセンタードセラピストを指向する方々のためにー 清水 幹夫							

9月5日土

オンライン Room 1	10:00～11:30 O-01 江戸川乱歩と精神分析 -「論文J・A・シモンズのひそかな情熱(四)」を読む- 鶴田 一郎 座長：池田 豊彦	11:40～12:40 O-05 フォーカシングを用いた保育者の応答に関する探索的研究 -子どもたちの話を聴くことと、表現を促すこと- 矢野 キエ 座長：齊藤 崇	13:40～15:10 O-09 2019年度南山大学青木ゼミ卒業論文の概観 青木 剛 座長：榎本 光邦	15:20～16:20 O-11 カウンセリング理論教授法 - Rogers の6条件の教え方から- 三國 牧子 座長：坂中 正義	16:30～17:30 O-15 青年期女性における生きづらさを話し合う会の実践と検討 大谷 桃子 座長：土井 晶子
オンライン Room 2	10:00～11:30 O-02 プレイセラピーにおけるセラピストの態度 - パーソンセンタードアプローチに基づき再考- 田中 将司 座長：井出 智博	11:40～12:40 O-06 パーソンセンタード・セラピストに専門的知識は必要なのか -クライアントと出会う「準備」という観点から- 山根 倫也 座長：末武 康弘	13:40～15:10 O-10 家族エンカウンター・グループの機能と経年参加者のニーズに関する一考察 -自然な対話と成長への気付き- 新村 信貴 座長：水野 行範	15:20～16:20 O-12 求職者の成長を促進するためのキャリアカウンセリングの注目点 森川 友子 座長：松本 剛	16:30～17:30 O-16 フォーカシング版プロセススケール作成の試み 舍川 優悟 座長：三宅 麻希
オンライン Room 3	10:00～11:30 O-03 テキストマイニングを用いたFocusing 第1版・第2版の改訂内容の検討: cruxの使用法に着目して 岡村 心平 座長：内田 利広	11:40～12:40 O-07 全身性エリテマトーデス (SLE) 患者を対象とした集団精神療法 - 海外における研究動向の概観 大河内 範子 座長：高松 里	13:40～14:40 ポスター発表 I P-01～P-07	15:20～16:20 O-13 児童養護施設心理士におけるセラピストフォーカシングの意味 真澄 徹 座長：宮田 周平	16:30～17:30 O-17 保育現場での親支援 -保育者の支援ニーズと心理職との協働の可能性- 中鉢 路子 座長：矢野 キエ
オンライン Room 4	10:00～11:30 O-04 自分自身を生きていることの意味 ～パーソンセンタード・カウンセリングの事例を通して～ 永野 浩二 座長：下田 節夫	11:40～12:40 O-08 フェルトセンスへの創造的週行を介した言明間の移行: ジェンドリンのプラトン対話篇注釈を手引きとして 田中 秀男 座長：村里 忠之	14:10～15:10 ポスター発表 II P-08～P-13	15:20～16:20 O-14 エンカウンター・グループにおける自己変容に寄与した体験の検討 -体験記録を分析して- 山郷 志乃美 座長：石田 妙美	

9月6日日

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
オンライン Room 1	9:00～10:30 大会主催講演 1 Focusing Oriented Psychotherapy and Complex Trauma Rob Parker 司会：宮田 周平	10:40～12:10 大会主催講演 2 認知行動療法と人間性心理学の交差 原田 誠一 司会：伊藤 研一		13:10～13:30 2020年度 総会報告	13:40～14:40 学会奨励賞受賞 記念講演 臨床と有機体、主体、応答性 久羽 康 司会：金子 周平	14:50～16:20 大会準備委員会企画シンポジウム 新型コロナウイルス状況下での人間性心理学の実践 三國 牧子・堀尾 直美 下田 節夫 司会：榎本 光邦			

参加者の皆さまへのご案内

■ 参加受付

受付はございません。各自、別紙でご案内した手順で参加を希望する Zoom のミーティングにご参加ください。

群馬パース大学に参集する形で実施するワークショップにご参加の方には、別途ご案内をいたします。

■ 大会本部

大会期間中、群馬パース大学で大会準備委員・大会推進委員・日本人間性心理学会理事長が待機しております。何かありましたら、以下の大会メールアドレスまでご連絡ください。

2020jhpc@gmail.com

■ 臨床心理士継続研修の申請手続き

大会参加とワークショップ参加はそれぞれ別途、ポイントが発生します。大会参加につきましては参加証を発行いたしません。領収書(コピー可)が大会参加の証明として使用できます。ワークショップにつきましては、参加後に参加証を発行し、メールで送付いたします。

大切に保管して、各自で申請してください。

■ 大会事務局の連絡先

群馬パース大学 教養共通教育部 榎本研究室内

日本人間性心理学会 第39回大会準備委員会 事務局

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町1-7-1

E-mail : 2020jhpc@gmail.com

大会ホームページ <https://www.2020jhpc.org/>

※大会準備委員会へのご連絡は、メールでお願いいたします。

座長の先生方へのご案内

■進行について

- 座長の仕事は、司会進行、発表者とフロアのディスカッションのファシリテート、コメント等です。事前に発表者と打ち合わせをして、ご自分のスタイルでお役をおつとめください。滞りのない進行をお願いします。
- 担当の研究発表のミーティングに、発表開始10分前までにご参加ください。出席確認をさせていただきます。
- 時間になりましたら、セッションの開始をお願いいたします。
- 発表前に、座長から発表の録画・録音の禁止について、アナウンス、確認をお願いします。
- 時間内に発表が終わるようにご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。
- 諸事情により、万一座長を務めることができなくなった場合には、日本人間性心理学会第39回大会準備委員会 事務局 (2020jhpc@gmail.com) までご連絡ください。

研究発表を行う方へのご案内

1. 自主シンポジウム(120分)、口頭発表(60分・90分)、ポスター発表(120分)を行う方へ

■ 発表時間について

全ての発表者は、発表時間と発表会場を確認し、遅れないように Zoom のミーティングルームに入室してください。

■ 配布資料について

配布資料がある場合は、大会事務局までメールで送ってください(2020jhpc@gmail.com)。メールのタイトルには発表番号・発表代表者氏名をご記載ください。大会ホームページ上から、大会参加申し込み者のみが閲覧できるようにいたします。

2. 注意事項

- ・ ミーティングルームには自分の発表の5分前には入室してください。
- ・ 発表は Zoom 上で行います。各自、安定した通信環境の確保をお願いいたします。

3. 口頭発表(60分・90分)を行う方へのご案内

■ 座長との打ち合わせ

事前に発表者・座長にそれぞれの連絡先をお知らせします。メール・電話・Zoom など事前に連絡を取ってください。論文集以外に配布資料がある場合は、事前に担当座長に資料をお送りください。

4. 発表取り消しの場合

不測の事情により発表取り消しや変更をせざるを得ない場合は、必ず書面またはメールにて日本人間性心理学会第39回大会準備委員会 事務局(2020jhpc@gmail.com)にご連絡ください。

講演・シンポジウム プログラム

日時：9月6日（日）会場：Room1

大会主催講演1 9:00～10:30

p16

司会：宮田 周平（大会準備委員会 副委員長、鎌倉女子大学）
通訳：小坂 淑子（東京外国語大学）
日笠 摩子（大正大学）

Focusing Oriented Psychotherapy and Complex Trauma （フォーカシング指向心理療法と複雑性トラウマ）

Rob Parker（フォーカシング指向心理療法家）

大会主催講演2 10:40～12:10

p18

司会：伊藤 研一（学習院大学 教授）

認知行動療法と人間性心理学の交差

原田 誠一（原田メンタルクリニック 院長・東京認知行動療法研究所）

学会奨励賞受賞記念講演 13:40～14:40

p20

司会：金子 周平（日本人間性心理学会理事長、九州大学）

臨床と有機体、主体、応答性

久羽 康（駒澤大学）

大会準備委員会企画シンポジウム 14:50～16:20

p22

司会：榎本 光邦（大会準備委員長、群馬パース大学）

新型コロナウイルス状況下での人間性心理学の実践

シンポジスト：

エンカウンターグループの立場から	三國 牧子（九州産業大学）
フォーカシングの立場から	堀尾 直美（フォーカシング・ネットワーク）
私設相談室の立場から	下田 節夫（幡ヶ谷カウンセリングルーム）

大会主催 ワークショップ一覧

大会主催ワークショップ

日時：9月4日(金) 10:30～16:30(休憩60分含む)

※ WS-8 ベーシック・エンカウンターグループは9月3日・4日の2日間

コース	ワークショップ	講 師	会 場	ページ
WS-1	An introduction to Gendlin's Philosophy of the Implicit, for humanistic psychologists	Rob Parker (フォーカシング指向 心理療法家)	中止	24
WS-2	身体は心の軸 ― 身体性を通じた心との相関関係	佐野 登 (能楽師・宝生流シテ方)	中止	25
WS-3	生い立ちに困難を抱える子どもの「時間」をつなぐ ― 社会的養護における心理的ケア ―	井出 智博 (北海道大学 准教授)	Room2	26
WS-4	やさしいフォーカシング ― 対人援助職に役立ちます	伊藤 研一 (学習院大学 教授)	402教室	27
WS-5	表現アートセラピーの様々な場面での適用 (臨床、教育、産業領域)	小野 京子 (日本女子大学 特任教授)	Room3	28
WS-6	自己生成プロセスワーク ― パーソンセンタードセラピストを指向する方々のために ―	清水 幹夫 (多摩心理臨床研究所・ 法政大学 名誉教授)	403教室	29
WS-7	実践的交流分析入門 ～ 精神ではなく、相互の交流を分析し、変えていく ～	江花 昭一 (神奈川大学 保健管理センター長)	Room4	30
WS-8	ベーシックエンカウンターグループ	松本 剛 (兵庫教育大学大学院 教授) 三國 牧子 (九州産業大学 准教授)	Room1	31

自主シンポジウム一覧

自主シンポジウム

日時：9月4日(金) 17:00～19:00

No	シンポジウム	発表者	会場	ページ
S-1	発達障害児支援に必要なこと ー 周囲のおとなの語りから探る	遠藤 野ゆり (連名)	Room1	34
S-2	人間性(心理学)と宗教性の交差をめぐって ー 科学技術の時代に宗教性は何であり得るか？	飯嶋 秀治 (連名)	Room2	35
S-3	言葉にすること・言葉にならないということ ー 基礎心理学と人間性心理学の交差Vー	宮田 周平 (連名)	Room3	36
S-4	臨床家としての Personal Development を考える	永野 浩二 (連名)	Room4	37

口頭発表一覧

口頭発表Ⅰ(90分)

日時：9月5日(土) 10:00～11:30

No	演題名・発表者	座 長	会 場	ページ
O-01	江戸川乱歩と精神分析 — 論文「J・A・シモンズのひそかなる情熱(四)」を読む — 鶴田 一郎(広島国際大学 健康科学部)	池田 豊應	Room1	40
O-02	プレイセラピーにおけるセラピストの態度 — パーソンセンタードアプローチに基づく再考 — 田中 将司(九州大学大学院)	井出 智博	Room2	41
O-03	テキストマイニングを用いた Focusing 第1版・第2版の 改訂内容の検討: crux の使用法に着目して 岡村 心平(神戸学院大学 心理学部)	内田 利広	Room3	42
O-04	自分自身を生きることの意味 ～ パーソンセンタード・カウンセリングの事例を通して ～ 永野 浩二(追手門学院大学 心理学部)	下田 節夫	Room4	43

口頭発表Ⅱ(60分)

日時：9月5日(土) 11:40～12:40

No	演題名・発表者	座 長	会 場	ページ
O-05	フォーカシングを用いた保育者の応答に関する探索的研究 — 子どもの話を聴くこと、表現を促すこと — 矢野 キエ(大阪キリスト教短期大学)	齊藤 崇	Room1	44
O-06	パーソンセンタード・セラピストに専門的知識は不要なのか — クライアントと出会う“準備”という観点から — 山根 倫也(関西大学大学院 心理学研究科)	末武 康弘	Room2	45
O-07	全身性エリテマトーデス(SLE)患者を対象とした集団精神療法 — 海外における研究動向の概観 大河内 範子(公益財団法人神経研究所)	高松 里	Room3	46
O-08	フェルトセンスへの創造的遊行を介した言明間の移行： ジェンドリンのプラトン対話篇注釈を手引きとして 田中 秀男(関西大学)	村里 忠之	Room4	47

口頭発表Ⅲ (90分)

日時：9月5日(土) 13:40～15:10

No	演題名・発表者	座 長	会 場	ページ
O-09	2019年度南山大学青木ゼミ卒業論文の概観 青木 剛(南山大学 人文学部 心理人間学科)(連名)	榎本 光邦	Room1	48
O-10	家族エンカウンター・グループの機能と経年参加者の ニーズに関する一考察 ― 自然な対話と成長への気付き ― 新村 信貴(九州大学大学院 人間環境学府 人間共生システム専攻 臨床心理学指導・研究コース)	水野 行範	Room2	49

口頭発表Ⅳ (60分)

日時：9月5日(土) 15:20～16:20

No	演題名・発表者	座 長	会 場	ページ
O-11	カウンセリング理論教授法 ― Rogers の6条件の教え方から ― 三國 牧子(九州産業大学)	坂中 正義	Room1	50
O-12	求職者の成長を促進するための キャリアカウンセリングの注目点 森川 友子(九州産業大学 人間科学部 臨床心理学科)(連名)	松本 剛	Room2	51
O-13	児童養護施設心理士におけるセラピストフォーカシングの意味 真澄 徹(社会福祉法人フロンティア 障がい者施設 いけぶくろ菫の里)	宮田 周平	Room3	52
O-14	エンカウンター・グループにおける自己変容に寄与した体験の検討 ― 体験記録を分析して ― 山郷 志乃美(跡見学園女子大学 人文科学研究科 臨床心理学専攻)	石田 妙美	Room4	53

口頭発表Ⅴ (60分)

日時：9月5日(土) 16:30～17:30

No	演題名・発表者	座 長	会 場	ページ
O-15	青年期女性における生きづらさを話し合う会の実践と検討 大谷 桃子(松戸市 子ども部 子ども家庭相談課)	土井 晶子	Room1	54
O-16	フォーカシング版プロセススケール作成の試み 舎川 優悟(九州産業大学大学院 国際文化学部 臨床心理専攻)	三宅 麻希	Room2	55
O-17	保育現場での親支援 ― 保育者の支援ニーズと心理職との協働の可能性 ― 中鉢 路子(青山学院大学 教育人間科学部 心理学科(臨床心理学)) (連名)	矢野 キエ	Room3	56

ポスター発表一覧

ポスター発表Ⅰ(60分)

日時：9月5日(土) 13:40～14:40

No	演 題 名	発 表 者	会場	ページ
P-01	ノンバーバルコミュニケーション能力向上のための指導方法の検討	高瀬 加容子 (連名)	Room3	58
P-02	わたしらしさの当事者研究 — On Becoming Oneself —	大塚 南穂 (連名)		59
P-03	他者からの期待の受け止め方と自己効力感およびストレス反応の関係	安元 あかり		60
P-04	保護者から見た発達障害児対象の集団療法的アプローチ「プレイケア」を通した子どもの変化に関する研究	久保田 進也 (連名)		61
P-05	ひきこもり支援団体の実態調査 — 質問項目の開発 —	山口 祐子 (連名)		62
P-06	「海外研究生活」の意味は「語り」によりどう生成されるのか：モノログと2種類のダイアログの比較	土井 晶子 (連名)		63
P-07	ファシリテーター訓練におけるメンバー体験と体系的訓練の効果の比較	金子 周平 (連名)		64

ポスター発表Ⅱ(60分)

日時：9月5日(土) 14:10～15:10

No	演 題 名	発 表 者	会場	ページ
P-08	社交不安症者の家庭養育環境に対する認知に関する研究	古賀 なな子	Room4	65
P-09	ヨーガフォーカシングの開発と適用についての検討	山本 志帆		66
P-10	支持的サポートグループによる要配慮学生への就労支援の試みに関する一考察	鬼塚 淳子 (連名)		67
P-11	対人感受性の高さによる困難の質的研究	香川 実穂 (連名)		68
P-12	母子生活支援施設における心理的支援 — 歴史的背景から現代的課題を検討する —	須崎 暁世		69
P-13	PCA-Kansai における活動と学びの体験報告	小野 真由子 (連名)		70

大会主催公演 1

Focusing Oriented Psychotherapy and Complex Trauma (フォーカシング指向心理療法と複雑性トラウマ)

Rob Parker

フォーカシング指向心理療法家

通訳: 小坂 淑子(東京外国語大学)

日笠 摩子(大正大学)

Philosopher Eugene Gendlin studied our implicit understanding of the world, for example your ability to know implicitly what these words mean as you read them, without defining them explicitly in your mind.

In a series of research studies, he showed that psychotherapy clients who had the best outcomes were also more able to articulate their implicit understanding of themselves and their problems.

Because this ability to interact with implicit understanding, or felt meaning, so important for psychotherapy, Gendlin developed a teachable method for doing it, which he called Focusing.

In this workshop, we will introduce a particular Focusing Oriented Therapy for Complex Trauma, by viewing and discussing a video of an actual therapy session.

哲学者としてのユージン・ジェンドリンは、世界を私たちが暗黙のうちに理解していることについて研究しました。例として、皆さんがこれを読みながら、心の中で単語の意味を明示し定義しなくても、それが何を意味するのか分かる力を持っていることが挙げられるでしょう。

一連の調査研究のなかで、彼は次のようなことを示しました。心理療法のクライアントで最も予後の良い人たちは、同時に、彼ら自身とその問題についての暗黙の理解をより明瞭に表現することも出来ていたのです。

この暗黙の理解(あるいは感じられた意味)と相互作用する力は、心理療法にとってとても重要なものでした。そこでジェンドリンは、それを学ぶ方法を開発し、フォーカシングと名付けました。

このワークショップでは、特に複雑性トラウマのためのフォーカシング指向療法を紹介し、実際のセラピー場面のビデオを見ながら議論していきます。

Instructor introduction:

Rob Parker is a certified Focusing Trainer and Coordinator who studied philosophy with Gene Gendlin approximately every week from 2003 until Gene's death in 2017.

In addition to publishing and lecturing on Gene's philosophy, Rob has been teaching webinars on A Process Model and Experiencing and the Creation of Meaning since 2009.

In his other life as a psychologist specialized in psychological trauma, Rob has designed and directed inpatient and outpatient treatment programs, published and lectured for professional and governmental audiences, and appeared in national media such as the New York Times and MSNBC.

Rob is constantly amazed by the power of Gene's philosophy and how it continually expands and deepens our awareness of ourselves and of the world.

ロブ・パーカーは認定フォーカシングトレーナーであり、コーディネーターです。ジーン・ジェンドリンと共に、2003年から2017年に彼が亡くなるまでは毎週哲学を学んでいました。ジェンドリン哲学について出版や講演を行うだけでなく、「プロセスモデル」や「体験過程と意味の創造」について、2009年からオンライン上で教えています。

心理学者としての人生においては、心的外傷を専門としています。入院患者及び外来患者を対象としたプログラムを企画し監督しています。また専門家や政府関係者を対象に出版や講演を行い、ニューヨークタイムスやMSNBC(MicrosoftとNBCが共同で行っているウェブニュース)に出演しました。

ロブはジェンドリン哲学の持つ力に絶えず驚きを感じています。それは私たち自身と世界についての気づきを拡大し、また深め続けているのです。

口頭発表

江戸川乱歩と精神分析

— 論文「J・A・シモンズのひそかなる情熱(四)」を読む —

○鶴田 一郎

広島国際大学 健康科学部

keyword：精神分析、江戸川乱歩、J・A・シモンズ

【目的】本発表では、大槻憲二が主宰していた東京精神分析学研究所が発行する『精神分析』に1933年に発表された江戸川乱歩(以下、乱歩と略)の未完の論文「J・A・シモンズのひそかなる情熱」の内、第四回掲載分(最終回：江戸川1933d)を中心に、全4回全体についての検討・考察を行う。

【方法】その際、上掲論文全4回(江戸川1933a, 江戸川1933b, 江戸川1933c, 江戸川1933d)および関連文献(江戸川1934等)の詳細な読み込みを通じて次のことを検討する。すなわち、乱歩の「無意識の意識化」が、どの程度進んだのかを出発点とし、更に、その後の乱歩の創作活動も視野に入れて、乱歩は如何に「投影の引き戻し」を達成していったのかについて検討する。

【結果】乱歩にとってパイデラスティア(ギリシャ的愛・少年愛・同性愛)の探究はライフワークであった。そして以前『孤島の鬼』で描いたような「肉の愛」ではなく、乱歩が真に求める「霊の愛」としてのパイデラスティアを追求した作品を、上掲論文全4回などを転換点として発表していく。それが少年探偵団シリーズであり、明智小五郎と小林少年の関係の中に「霊の愛」としてのパイデラスティアを乱歩は落とし込んでいくのである(江戸川1949)。

このプロセスから、乱歩自身、意識せずに行っていた「無意識の意識化」の萌芽が指摘でき、それが基礎になり、更に、その後の創作活動、特に少年探偵団の小林少年の中に乱歩のパイデラスティアは昇華された、と結論付けられた。

【考察】上の結果から更に次の二つの点が考察された。第一は、4回にわたる未完論文などの中で、乱歩は自身そうとは気づかずに「無意識の意識化」を行っていたこと、第二は、第一を基礎にして、更にその後の

創作活動、特に少年探偵団団長の小林少年の中に「肉の愛」としてのパイデラスティアは昇華されていったことである。それにより、乱歩が理想とした「霊の愛」としてのパイデラスティアと「肉の愛」としてのパイデラスティアの融合が起こり、その後の創作活動、時に「少年探偵団シリーズ」の中に、それを昇華された形で顕現させることが可能になったと考えられるのである。

【引用文献】

江戸川乱歩(1933a)「J・A・シモンズのひそかなる情熱(一)」『精神分析』(東京精神分析学研究所)1(1), pp. 16-26.

江戸川乱歩(1933b)「J・A・シモンズのひそかなる情熱(二)」『精神分析』(東京精神分析学研究所)1(2), pp. 161-171.

江戸川乱歩(1933c)「J・A・シモンズのひそかなる情熱(三)」『精神分析』(東京精神分析学研究所)1(4), pp. 410-419.

江戸川乱歩(1933d)「J・A・シモンズのひそかなる情熱(四)」『精神分析』(東京精神分析学研究所)1(6), pp. 614-622.

江戸川乱歩(1934)「槐多『二少年図』」江戸川乱歩(2005)『江戸川乱歩全集第24巻悪人志願』光文社, pp. 498-504.

江戸川乱歩(1949)「小林少年のこと」江戸川乱歩(1949)『江戸川乱歩全集⑤少年探偵青銅の魔人』光文社, pp. 200-202.

プレイセラピーにおけるセラピストの態度 ー パーソンセンタードアプローチに基づく再考 ー

○田中 将司

九州大学大学院

keyword：プレイセラピー、態度、パーソンセンタードアプローチ

【目的】プレイセラピーの包括的な理解は難しい。各理論的立場にたって立証する方向性は見い出されているが(Russ, 2010)、言語化する困難さ等にも課題が存在する(弘中, 2002)。パーソンセンタードアプローチ(PCA)におけるプレイセラピーは、セラピストの態度について複数の立場があり(Axline, 1947/1972; Moon, 2001)、見解が一致していない。近年PCAはその有用性が実証されてきているため(e.g., Elliot et al., 2004)、プレイセラピーでもセラピストの態度に関する仮説が生成できれば、先行研究をもとに立証可能なプロセスを歩める可能性がある。筆者(Th)の事例はPCAに基づいていないが、Thの体験だけでなく面接内外のクライエントの様子も豊富に記録していた。Thの態度だけでなく、有用であったかどうかにもまで仮説的に言及できるだろう。本論では、その一事例を提示し、PCAで述べられてきた理論と比較しながらセラピストはどのような態度でいるべきか再考する。

【事例の概要】X年4月からThが担当した小学6年男児(A)の事例である。不登校について相談したく母親に連れられ来談し、Aは「人との距離感について」学びにきている、「学校に行きたい」といった。面接は週1回(X+2年10月より月1回)の頻度で行われた。親子並行(もしくは合同)面接であった。本事例は、面接が終結して約半月後に保護者に電話、書面で個人が特定されない範囲での事例公表の承諾を得た。

【経過と考察】Moon(2001)が述べるように、クライエントの面接内での言動を尊重し受け入れていくことがセラピストの態度の基盤にある重要性が伺えた。ただし、遊びに沿ってAの主訴に関する欲求をかなえる手助けをしたときも、面接内外にポジティブな変化がみられた。例えばThは「学校に行きたい」Aに「なんとかしてあげたい」と考えていた。遊びの中に

登場したAの演じる犯罪者が「本当は警察になりたかった」と言ったとき、Aとそのキャラクターを重ね、〈じゃあ(警察になる)試験を受けてみたら?〉と伝えた。その後面接に大きな展開がみられたり、徐々に登校するAの姿がみられたりした。Thのこのような言動の共通点として、1)主訴に関するAの欲求に積極的に関与しようとしたこと、2)遊びに沿っていたこと、が挙げられた。PCAではセラピストが全ての側面を受容したときクライエントの成長が見られると考えられている(Mearns & Throne, 2000)。面接内のクライエントの表現を受容すると同時に、クライエントの主訴を理解し受容する態度も重要であろう。Thが遊びに沿ってAの主訴に関する欲求をかなえる手助けをしたとき、その2つの態度が同時に存在していた。Aも面接内で同時に自分のあらゆる側面を意識し、理解したり、整理したりすることになった可能性がある。以上より、セラピストは面接中のクライエントを理解し受容するだけでなく、主訴に関するクライエントの欲求も積極的に理解し、同時に受容するべきであることが考えられた。

日本人間性心理学会第39回大会
大会準備委員会

委員長 榎本 光邦

副委員長 宮田 周平

事務局長 上田 紋佳

事務局次長 藤木 大介

会計 久羽 康

大会準備委員 竹居田 幸人

丸 利宗

中鉢 路子

協 賛

学校法人群馬パース学園 群馬パース大学

株式会社木立の文庫

株式会社創元社

賛 助 会 員

株式会社創元社

人間関係研究会

株式会社日本・精神技術研究所

NPO 法人メンタルヘルス研究所

佼成カウンセリング研究所

一般社団法人全日本カウンセリング協議会

株式会社木立の文庫

株式会社日本カウンセリングサポート

日本人間性心理学会 第39回大会 大会プログラム

大会準備委員長：榎本 光邦

日本人間性心理学会 第39回大会準備委員会 事務局：

群馬パース大学 教養共通教育部 榎本研修室内

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町1-7-1

E-mail：2020jhpc@gmail.com

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>



日本人間性心理学会第39回大会準備委員会事務局

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町1-7-1

群馬パーズ大学 教養共通教育部 榎本研究室内

E-mail: 2020jhpc@gmail.com

<https://www.2020jhpc.org/>